

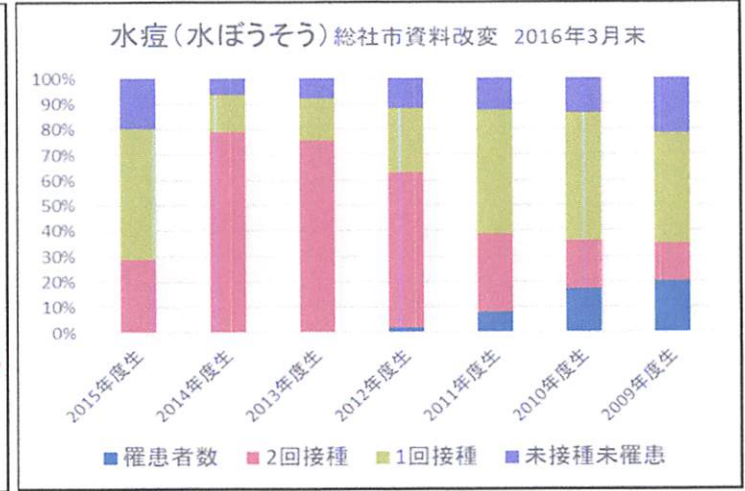
# 週間感染症情報

2020年31-33週 2020年7月27日より2020年8月16日まで

31週 32週 33週

麻疹			
風疹			
水痘(みずぼうそう)	4	1	7
ムンプス(おたふくかぜ)			
百日咳			
溶連菌感染症		9	1
手足口病	1	2	4
ヘルパンギーナ		2	6
伝染性紅斑			
感染性胃腸炎	16	9	8
ロタウイルス(再掲)			
便アデノウイルス(再掲)			
突発性発疹	3	7	
伝染性膿痂疹(とびひ)	13	9	6
ヘルペス性口内炎			
アデノウイルス感染症	2		3
RSウイルス感染症			
マイコプラズマ感染症			
ヒトメタニューモウイルス			
インフルエンザ(臨床診断含む)			
インフルエンザA			
インフルエンザB			

31週から33週 3週間分の報告です。小児の感染症の報告は非常に少ない状況が続いています。水痘は、市内小学校6年生(2例)市内認定こども園(10例)です。6年生は、ワクチン未接種で発疹数も多く重症感がありました。水痘は2013年度より総社市独自のワクチン接種助成が始まり、2014年10月より定期接種となりました。この制度のおかげで、水痘の接種率は40%前後から90%以上に上昇し、報告数は左下のグラフの様に、(2020年度は8/16まで)大きく減少しました。右下のグラフは2016年3月末の水痘ワクチン接種率です。2009年度生まれから対象になりました。6年生(2008年度生まれ)は対象になっていませんでした。こども園の症例は2回接種済が多く、非常に軽症でした。2回接種で幼児の水痘流行はまれになり、典型例は少なくなり臨床診断が困難となっています。水痘にかかっている人はワクチンを接種して下さい。2回接種が必要です。手足口病やヘルパンギーナ等、夏かぜのウイルス疾患が増加しています。感染性胃腸炎は、焼き肉関連のカンピロバクターやサルモネラ、カエルなど動物と接触してのサルモネラなど細菌性の胃腸炎の報告が増えています。



電話 0866-93-8511 FAX 0866-93-7471 メール miyamasa@mx9.kct.ne.jp

三宅内科小児科医院 三宅真砂子